

## 木材価格市況標準相場

令和6年7月4日

東京木材問屋協同組合  
価格市況調査委員会

## ○今月の価格動向

|           |   |   |
|-----------|---|---|
| (1) 値上げ品目 |   | 1 |
| 北洋材・北欧材   |   | 1 |
| (2) 値下げ品目 |   | 4 |
| 平         | 角 | 1 |
| 合         | 板 | 3 |

## ○今月の市況動向

6月の商況は、先月に続き荷動きは低調との報告が多くを占めた。プレカット工場の稼働率も更に悪くなり、値下げ要請も強いとの報告もあった。

(国産材) 秋田では、中国木材(株)能代工場の杉集成管柱の販売が順調ではなく、原木受け入れの仕分けを厳格化したとのこと。合板工場の原木受け入れ制限も続いている。構造材では、価格が上昇している輸入材からの移行で、荷動きの回復が見られる。造作材も柾やスプルスが高いので、売り易くなっているとの報告もあった。役物では住宅用は動かないが、店舗等では動きがある。円安傾向は続いているので、国産材役物の需要を期待したいとのこと。

(輸入材) 荷動きが低調な状況で、円安と船賃値上げの影響を受けて苦しいとの報告が多く聞かれた。一部でスエズ運河航路の再開の動きがあるが、迂回の影響で運行スケジュールの乱れが起きている。

(合板) 国内針葉樹合板の生産量と出荷量は、4月、5月と2か月連続で、生産が出荷を上回った。価格も再度下げに転じた。輸入合板では、港在庫は減少しているが、引合いは低調で、価格の値戻しも限定的となっている。コンテナについては、フリータイムの短縮、価格の値上げが数社から来ているとの報告があった。